

# 右京防犯推進委員連絡協議会（京都府）

皆さん、元気ですか。ただいまから、右京防犯推進委員連絡協議会の活動を発表させていただきます。発表させていただく私は、右京防犯推進委員連絡協議会会長の椿原正人と申します。隣に右京平安レディースの大角きみ子、隣が谷口宮子です。よろしくお願いします。



## 活動地域の紹介

私たちが活動する右京区という地域は、京都市内で面積の一番広い地域です。人口約 20 万 3,000 人の地域住民が暮らしています。右京区と言えば、皆さんピンときますか。右京区は、太秦映画村や名勝嵐山、嵯峨野、天龍寺等で有名な府内最大の観光地でもあり、皆さんの中にも足を運んでいただいた方がたくさんいらっしゃるのではないかと思います。

一方、警察の話によりますと、右京区は観光地の優雅な雰囲気とは裏腹に、子どもや女性につきまとい声を掛けたりする不審者の届け出が多く、また、犯罪の被害に遭ったという届出の件数も多いという残念な実情があります。



## 団体の概要

私たちは、以前の防犯連絡所に代わり、平成6年4月に結成した防犯ボランティア団体です。安全で安心して暮らせる右京の実現という目的に賛同した地域住民が集まり、右京警察署長、右京防犯協会会長の委嘱を受けて活動しております。委員は全員地域住民で、職業も様々です。団体には 22 の支部があり、基本的には支部単位でまとまって活動することがほとんどですが、女性委員の中の有志 35 名は、各支部で活動する傍ら支部の枠を超えて集まり、右京平安レディースとしても活動しています。女性らしい視点とあふれるアイデアを生かし、男顔負けのパワーとフットワークの良さで積極的に活動している活動単位の1つです。今や私たち右京防犯推進委員連絡協議会全体を、ときには引っ張り、ときには裏で支えてくれる、なくてはならない存在になっております。まずは、今、説明した右京平安レディースの活動からお話をいたします。

### ★ 私たちについて

- 結成：平成6年4月
- 目的：安全で安心して暮らせる右京の実現
- 委嘱：右京警察署長と右京防犯協会会長からの委嘱を受けて活動
- 任期：2年（再任可）
- 委員の構成：地元住民が集まっており、職業は自営業者、主婦など様々



平成24年4月  
各支部長等代表者に対する委嘱状交付式

### 右京防犯推進委員連絡協議会

嵐山支部	嵯峨野支部	★女性委員の有志 右京平安 レディース  委員数 22支部362名 (うち女性74名) 女性委員のうち 右京平安レディース (35名) 平成24年4月1日現在
木津支部	高槻支部	
宇多野支部	宇陀支部	
梅津支部	常盤野支部	
御堂支部	西京橋支部	
基野支部	花園支部	
北梅津支部	広沢支部	
京北支部	安井支部	
西院第一支部	水尾支部	
西院第二支部	南木津支部	
嵯峨支部	山ノ内支部	
会長		

## 右京平安レディースの活動

私たち右京平安レディースの「女性の視点から楽しみながら伝える防犯活動」について紹介します。右京平安レディースは毎月1回ワーキングを開き、活動計画等を話し合っております。それぞれに家事などもある中、貴重な時間を割いて集まるワーキングは真剣そのものです。防犯の注意点を伝える側である自分たちが楽しみながら伝えなければ、伝えられる側の心に残らないという思いから、どんな方法で活動しようかと話し合っております。そして、このワーキングの場が、防犯活動で使うグッズ誕生の場にも早変わりすることしばしばです。最近では、地域のお年寄りが犯罪被害に遭うことなく、心身共に元気に長寿を全うして欲しいという願いを込め、金銀糸と新品の五円硬貨を使って亀のマスクットを作りキーホルダーにした「祝い亀キーホルダー」を作りました。高齢者の防犯教室や啓発活動で配布したところ、大変喜ばれました。ほかにも幼稚園や子ども向けの活動のためにキャンディー入りハート形小袋を作って活用するなど、時には女性の視点、時には母親の視点で受ける側に喜ばれる啓発物品を作り活動に使っております。

地域子どもたちに、防犯をもっと身近に感じ、犯罪から身を守る方法を覚えてもらいたいという思いから、地蔵盆で防犯教室を出前します。地蔵盆は、京都では各町内で毎年、子どもたちの健やかな成長を願い、町内にあるお地蔵さんをお祭りする子どもが主人公の行事です。右京平安レディースの子どもに向けたペープサートによるイカのおすしの防犯教室が口コミで評判を呼び、各町内から要請が入ります。要請を受ければ、ペープサート持参で出前防犯教室を実施しております。



出前防犯教室では、他の手作り啓発グッズも持参で駆け付けております。防犯は子どもにとっては馴染みの無いものですが、少しでも身近なものとして楽しみながら学び、楽しい思い出と共に覚えて欲しいという思いと、「地元のおばちゃんが、いつでもあんたたちを見守っているで」ということを実感してもらいたいという思いから、防犯教室の出前をしています。この他、警察署を保育園児が訪問する行事がある時等にも、防犯教室を開いています。子育ての経験を生かし、子ども相手の活動はお手の物です。

また、小学校でも、警察が不審者侵入対策のための訓練をする機会等に合わせて防犯教室を開き

ます。警察官の話を緊張して聞いている子どもたちも、私たちが前に出てくると、一瞬、あれっという不思議そうな顔をします。でも、ペープサートが始まると、警察官でも先生でもない地域のおっちゃんやおばちゃんたちの防犯教室に興味津々です。また、子どもたちの真剣な表情や笑顔が、委員にとっても地域の宝である子どもたちを地域で守ろうという意欲と活力につながっています。

## 行政も巻き込んだ活動



結成当初、地域住民による子ども見守り活動を活性化したいという思いから、小学校、教育委員会、自治会等に対し、子どもを見守る拠点とする小学校校門前のパトロールボックス設置を働き掛けました。当初は、さまざまな課題も多かったのですが、平成16年に梅津北小学校に住民の手作りによるパトロールボックスの設置が実現し、平成19年には区内の嵐山小学校等でも設置され、子どもを見守ろうという地域の意識が高まりました。パトロールボックスの設置と併せて、各学区内で子ども見守り隊の

結成を呼び掛け、今では右京区内の全学区で子ども見守り隊が結成され、私たちやPTAの皆さんのほか、多くのボランティアが見守り活動を続けています。子ども見守り活動以外では、区役所や社会福祉協議会等と連携して、高齢者対象の防犯教室も開いております。

また、毎年、全国地域安全運動期間中に防犯ボランティア、警察、行政が連携して地域安全大会を開催しております。例年、区民が安全・安心の実現に向かい心を一つにして取り組む象徴ともいえる恒例の行事となっています。

## 活動内容～地域に根ざした活動

地域のことは地域住民が一番よく知っています。地域の安全や安心を一番願うのは地域住民であり、また地域の安全や安心は地域住民の手で作り保っていく必要があると私たちは考えています。そこで、機会を見付けては地域の高齢者宅を訪問し、振り込め詐欺被害の防止を呼び掛けたり、区民運動会でパレードをして、自転車を盗まれないように呼び掛けたりするなど、地域に根ざした活動をしています。

また、定期的な防犯パトロールも実施しています。各支部が、毎月20日を防犯の日と定めて実施しているほか、子どもの登校時間帯に合わせた、青色防犯パトロールや徒歩でのパトロールなど、無理なく続けられるパトロールを実施しています。警察との情報交換を頻繁にし、私たちからは地域住民の目線から感じる危険箇所を報告し、警察からは犯罪が多く発生している場所や発生傾向を知らせていただき、パトロールに活かしております。パトロール中に会



った地域住民に、被害防止のために注意を呼び掛けたりすることもしばしばありますが、私たちが同じ目線で注意を呼び掛けると、より身近なこととして聞いてもらえる効果があるように感じております。



### 活動内容～若い世代と一緒に取り組む活動

京都は、「<sup>いちげん</sup>一見さんはお断り」という意地悪なイメージも持たれがちな地域ですが、防犯ボランティアには一見さんも常連さんありません。地域に関係なく京都府内で活動する学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」とは、一緒に活動することも多いのですが、これが彼らにとっても私たちにとってもよい刺激となっております。

### 活動内容～思いを込めた手作りの活動



犯罪の危険をより身近に感じてもらえる何かよい方法はないかと思い、大型ののぼりや垂れ幕など、防犯の呼び掛けに使う物品を独自に制作し活用しています。のぼりは、スーパーマーケットの出入口で買い物客に自転車盗難やひったくりを防止するための注意を呼び掛けるのに活用し、垂れ幕は地域のイベントで自転車盗難防止のためのツーロックの呼び掛けに活用しております。

また、子どもたちにも楽しく印象に残る方法で犯罪から身を守る方法を伝えたいという思いから、子どもの日に合わせて、防犯手作りこいのぼりを制作しました。こいのぼりの体に「イカのおすし」の標語を書き込み、右京平安レディースが心を込めて縫製した防犯手作りこいのぼりを地元小学校校庭に泳がせ、入学式前日から子どもの日までの間、子どもたちを見守りました。

そして、私たちが 25 年前から毎年作っているのが、防犯啓発用大凧です。この凧を作り始めたきっかけは、私たち地域住民が毎日、安全で安心して暮らせる幸せと、警察官への感謝とお礼の気持ちを込めて作ったのが始

まりです。

それ以降、毎年、図柄を変えながら制作をしております。大きさは畳 40 畳、重さ 150 キロ、竹の骨組みで毎年 12 月 1 日から成人式前日まで右京警察署正面玄関を飾り、区民の安全で安心な暮らしを



見守る冬の風物詩となっていました。昨年末からは今年初めにかけては、右京区制 80 周年の記念に、右京区役所玄関ホールに掲出させていただきました。

区制 80 周年の記念すべき年ということもあり、右京区長と共に NHK 京都の番組にも取り上げられ、多くの人に見てもらうことで安全・安心に対する意識を高めてもらえたと思います。区役所からも好評で、是非来年もお願いしたいといううれしいお言葉もいただいております。

制作した大凧は毎年、成人式の日桂川の河川敷で少年補導委員会が開催する凧揚げ大会に持っていき、最後のトリとして揚げさせていただいております。重さ 150 キロ、畳 40 畳のこの大凧は、皆さんも思われていると思いますが、大会を見学されている皆様も、本当に揚がるのかと半信半疑で見ていらっしゃると思います。しかしながら、毎年、「揚げるのだ」という気持ちの一つにしてみんなで綱を持ち合い、地域の安全・安心を願いながら大凧が舞い上がると、どよめきと歓声が上がります。拍手が鳴り響きます。参加した区民の気持ちが一つになり、この大凧を空に掲げるときのよう地域住民の小さな力を結集して、地域の安全・安心を住民自身の手で作り、保ち、子どもや孫の代まで引き継いでいきたいと考えております。



## 今後の目標

私たちの活動する地域では、私たち以外にもたくさんの地域住民が交通事故防止、少年非行防止、防災等を目的に、自分たちが住む地域の安全・安心を守りたいという思いで活動していますが、連携した活動が少ないのが実情です。

住民にとっての安全・安心は犯罪の被害防止だけでなく、交通事故や火事、災害等で命の危険や生活の不安を感じることなく暮らしていきたくてこそ実現するものだと思います。今後は、団体の枠を超えて交流を深め一緒に活動し、広い意味で地域の安全・安心を守る活動を、私たち区民自身の手で進めていきたいと考えております。

## 質疑応答

●質問 パトロールであるとか、広報啓発の観点から大凧を作るとか、あとは学生防犯ボランティアとも連携して活用しておられるという、さまざまな方面で活動を展開しておられるなという印象を受けました。特に、女性の方々の活動への参加が顕著であるなと思いました。きめ細かな活動を展開しておられるなと思ったのですが、女性の方々に長く活動に参加していただくといった秘訣をご紹介いただけませんか。

○回答 女性の皆さんに参加していただけるように、活動する時間帯を参加しやすい時間帯にするように工夫し、また、楽しみながら活動していただける雰囲気を作るようにしています。そして、楽しみながら「できることはやりましょう。無理をしてやらない。」ということを基本にして、皆さん一生懸命頑張っていると思います。